

沖土改連発第 76号
平成25年 月 日

殿

沖縄県土地改良事業団体連合会
会 長 古 謝 景 春

水土里情報システム（クラウド方式）利活用促進について

時下ますます、御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、本会の業務運営につきましましては格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

水土里情報は、地理情報（GIS）を活用し、県全域の農業振興地域を対象に農業・農村基盤図を整備し、これを県・市町村及び農業関係各団体へ広く提供し、農業・農村振興における、多様な課題に対応することを目的とします。

当該データは、農地に関する多様な属性情報を取り込み、より充実した内容の情報ツールとして整備してきました。

水土里情報システムは本年度より従来の方式(スタンドアロン*1)に新しい方式(クラウド*2)を追加し、運用開始を予定しています。

運用開始に伴い、利活用者に活用方法を周知し、今後のシステムの充実を図るため、運用開始後2ヶ年間（平成25年度～平成26年度）は無償試用期間とさせていただきます。

つきましては、水土里情報システムの利活用を希望される団体におかれましては、別紙の水土里情報システム利用協定書の締結をお願いいたします。

なお、協定書に押印後は返送をお願いします。

協定書締結後IDとパスワードを発行致します

*1 スタンドアロン方式

他の機器に依存せず独立で動作する環境の事

*2 クラウド

ネットワーク、インターネットをベースとしたコンピュータの利用形態。